



賛助会員の紹介
岩崎 光子

「今年で40年、大変な事も沢山ありました。が、バーボルで培った粘りと根性で全て乗り越え今では良い思い出です」と嬉しそうに語る岩崎さん。

千歳基地との関りも永く、歴代司令や隊員の常連さんも多くて上は80代の方も: また従業員女性の面倒見も良く、隊員とのカップルも誕生しているよう

詳しいことは直接お店で正に清水町の母でした。

龍のす
和光 溝水町2-29-1
ビーサス4 1F
26-1255
ローソン
ギオン通り
至市役所P

皆さんと共に歩んだ40年の感謝をこめて
和光開業40周年記念パーティー 4/7(土)開催予定!

千鶯会賛助会員の代本正博(しろもとまさひろ)と申します。新年号の紙面をお借りし自己紹介させて頂きますことに感謝致しております。私は昭和46年、東京生まれの東京育ちですが、両親が青森と熊本出身なので、子供の頃から帰省の度に航空機かブルートレインでの一大家族旅行をしていました。その影響か、乗り物に対する興味を抱くようになりました。幼稚園児の頃には、将来の夢は「パイロットになる」という壮大なものでした。それも成長する毎に段々と変化し、中学生の頃には「鉄道員になりたい」

高校受験では、将来、鉄道員へとの夢を叶えるためと申します。新年号の紙面をお借りし自己紹介させて頂きますことに感謝致しております。私は昭和46年、東京生まれの東京育ちですが、両親が青森と熊本出身なので、子供の頃から帰省の度に航空機かブルートレインでの一大家族旅行をしていました。その影響か、乗り物に対する興味を抱くようになりました。幼稚園児の頃には、将来の夢は「パイロットになる」という壮大なものでした。それも成長する毎に段々と変化し、中学生の頃には「鉄道員になりたい」



代本賛助会員撮影

高校受験では、志を同じとする鉄道マニアが多く: いやつ、ほとんどの全員が何らかの鉄道マニアでありました。

私の場合は、鉄道写真(今で言うところの撮り鉄)を主に余暇は活動していました。夏休み、冬休みは、日本全国へ貧乏長期旅行に出掛けっていました。貧乏旅行故、駅員さんに近くの銭湯を教えてもらい、深夜に夜行列車の停車する24時間空いていい駅のベンチで寝るなど、波乱に満ちた楽しい高校生活も懐かしく想い出します。

卒業後は、東京の地下鉄を経営する帝都高速度交通営団(営団地下鉄)へ入団しました。帝都高速度交通営団と言ふと、かなり堅苦しい社名でありますが、これは首都圏の

千鶯会との出会い 賛助会員 代本正博(東京在住)

との夢に変わり、この頃からカメラもあり、一眼レフカメラをかかえ鉄道の写真を撮り歩くようになります。

現在は、電電公社、専売公社、国鉄等が民営化したように完全民営化の準備としまして東京地下鉄株式会社(東京メトロ)に変わり、その会社で私は駅員として勤務しております。

私は駅員として勤務してきました。

入社してからは先輩方の影響もあり、鉄道写真から離れ、マリンダイビング、スキー等に励む

ようになりました。

転機は、平成22年6月

余市ニッカウヰスキーのイベント「マイウイスキー作り教室」へ参加

に入社してからは先輩方の影響もあり、鉄道写真から離れ、マリンダイビング、スキー等に励む

ようになりました。

転機は、平成22年6月

余市ニッカウヰスキーのイベント「マイウイスキー作り教室」へ参加

に入社してからは先輩方の影響もあり、鉄道写真から離れ、マリンダイビング、スキー等に励む

になりました。

転機は、平成22年6月

余市ニッカウヰスキーのイベント「マイウイスキー作り教室」へ参加